

ToMMo NEWS LETTER

私たちのプロジェクトも10年を超えて、その波及が形になってきました。バイオバンクの試料・情報の利活用促進のため重ねてきた努力が、全国の多様なバイオバンクと横断的につながるネットワークに発展しました。コホート調査での知見をもとに、塩分摂取と血圧をコントロールしていく取組を自治体の方々と進め、表彰に結びつきました。これらの事例に留まらず展開が続けられるよう精進してまいります。

vol. **41**

TOPICS

バイオバンク・ネットワークの皆さまが来訪

2023年2月2日(木)、ToMMoの荻島 創一教授が研究開発代表者を務める日本医療研究開発機構 (AMED) の研究課題「ゲノム医療実現推進のためのバイオバンク利活用促進に向けたバイオバンク・ネットワーク構築と運用支援に関する研究開発」のバイオバンク相互交流のサイトビジットで、日本の主要なバイオバンクが参画する「バイオバンク・ネットワーク」の皆さまが、ToMMoを訪問されました。

荻島教授(写真下・左)は、冒頭にこれまでの取組を振り返り、将来のさらなるネットワークの発展に向けてお話ししました。山本 雅之機構長(写真下・右)は、東北メディカル・メガバンク計画についての講演を行い、コホート調査展示、スーパーコンピュータ、バイオバンクや、地域支援仙台センターと仙台子どもけんこうスクエア、シークエンス解析室などの施設を見学いただきました。



小暮 真奈講師らが日本オープンイノベーション大賞 選考委員会特別賞を受賞

内閣府はオープンイノベーションの推進のため、今後のロールモデルとして期待される先導性や独創性の高い取組を「日本オープンイノベーション大賞」として称えています。この度、ToMMoの小暮 真奈講師(写真・左端)らのグループが「第5回 日本オープンイノベーション大賞 選考委員会特別賞」を受賞致しました。受賞理由はCOI東北のプロジェクトで、「登米市で1万5千人規模の街の血圧を下げる世界で類の無い成果を生み出した」ことがポイントとされています。表彰式は2023年2月15日(水)に内閣府にて執り行われました。



【受賞対象となった取組・プロジェクト】

「持続可能な自助・共助の「分散型健康生産社会」を実現する産学官民連携「日常人間ドック」エコシステムの構築」

2023.01.17

母親の産後ボンディング障害と児の行動特性に関する論文が掲載

予防医学・疫学部門の村上 慶子講師らが執筆した母親の産後ボンディング障害と児の行動特性に関する論文がJournal of Affective Disorders誌に掲載されました。

母親のわが子に対する情緒的絆(ボンディング)の形成力の低下や欠如がみられる状態であるボンディング障害と未就学児の行動特性の関連を検討しました。産後1か月時点でボンディング障害を有する母親の割合は14.8%で、児の行動特性との関連が示唆されました。産後1か月頃に医療関係者が母親と接する機会を利用して、ボンディング障害をスクリーニングし介入につなげることが、児の行動特性に有益である可能性を示す成果です。

Maternal postnatal bonding disorder and emotional/behavioral problems in preschool children: The Tohoku Medical Megabank Project Birth and Three-Generation Cohort Study
Keiko Murakami et al. *J Affect Disord*, 2023

2023.01.20

呼吸機能検査指標と高血圧との関連についての論文が掲載

地域住民コホート調査で、肺活量などの肺機能を調べるスパイロメトリーにより得られた指標と高血圧の関連に

ついて解析した論文がJournal of Hypertension誌に掲載されました。スパイロメトリーは慢性閉塞性肺疾患などの診断に用いられ、指標が高いほど高血圧のリスクが低いという報告がありますが未喫煙者の検討や家庭での血圧(家庭血圧)を用いた検討はなされていませんでした。今回、呼吸機能検査の2つの指標と、地域支援センターでの測定と家庭血圧からそれぞれ判定された高血圧との関連を検討しました。その結果、検査指標が高い人ほど高血圧有病の割合が低いことが喫煙状態に関わらず観察され、この関連は、家庭血圧で判定された高血圧でも認められました。呼吸機能検査指標が低い人には血圧の測定が、高血圧の人には呼吸機能検査が必要であることが示されました。

Association between lung function and hypertension and home hypertension in a Japanese population: the Tohoku Medical Megabank Community-Based

Cohort Study

Masato Takase et al. *J. Hypertens.* 2023

2023.01.30

ウェブサイト「みんなで作るゲノムのこと〜ゲノム医療・研究への患者・市民参画(PPI)に向けて」を公開

AMEDのゲノム医療実現バイオバンク利活用プログラム「ゲノム医療・研究への患者・市民参画(PPI)推進およびリテラシー向上のための基盤整備」について、ウェブサイトが公開されました。この研究には、ToMMoから長神 風二教授が参画しています。このプロジェクトでは、ゲノム医療・研究について患者・市民の皆さまに知っていただき、幅広いご意見をいただくための活動を行っていく予定です。今後、イベントやご意見を聞く機会のご案内をウェブサイト上に掲載していきますので、ご興味のある方はぜひウェブサイトをご覧ください。

▶URL: <https://genomeppi.jp/>

INFORMATION

東北大学 東北メディカル・メガバンク機構

2023年 春の特別展示 ATGC ナノの旅

東北メディカル・メガバンク機構では、春休み期間の特別展示として、パネル展示「ATGC ナノの旅」を開催致します。ゲノム、DNA、遺伝子など、私たちの体の不思議とこれからの医療について、わかりやすく解説します。健康調査と併せて、是非、ご家族皆さままでお立ち寄りください。

期間: 2023.3.25 (土) ▶ 4.6 (木)

場所: 東北メディカル・メガバンク機構 各地域支援センター
(気仙沼、石巻、大崎、多賀城、仙台、白石、岩沼)



*期間中、健康調査でご来所される方を対象としたイベントです。健康調査のご来所のご予約は各地域支援センターまでお願いします。

EDITOR'S NOTE

東北ではここ数年、2-3月に大きな地震に見舞われ、その度に東日本大震災のことを思い出してきました。今年の本稿執筆時点では東北での大きな地震の発生はないですが、2月にトルコ・シリアでの巨大な地震の報に接しました。痛ましい多くの犠牲者の方々と、厳しい生活を送られる被災者の方々に思いを致す日々が続きます。震災後のプロジェクトとして、少しでも世界の災害からの復興に貢献できるよう努めます。(F.N)

本紙の詳細はウェブをご覧ください

▶ www.megabank.tohoku.ac.jp/news



メールマガジン「ToMMo News Mail」配信中

▶ forms.gle/ajtRk2KkYEzaLbPLA



「地域とToMMoに基金」のご案内

▶ www.megabank.tohoku.ac.jp/kikin



ToMMo NEWS LETTER Date of publication Mar, 2023

Published Tohoku University Tohoku Medical Megabank Organization Editor in chief Fuji Nagami Designer Miho Kuriki

TEL 022-717-8078 E-mail tommo@pr.megabank.tohoku.ac.jp URL www.megabank.tohoku.ac.jp © Tohoku University Tohoku Medical Megabank Organization